



クラリスロマイシン：定量法

—第十六改正 日本薬局方より—

試験条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：210 nm)

カラム：内径 4 mm、長さ 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：50 °C付近の一定温度

移動相：薄めた0.2 mol/L リン酸二水素カリウム試液(1→3)／アセトニトリル混液 (13 : 7)

流量：クラリスロマイシンの保持時間が約8分になるように調整する。

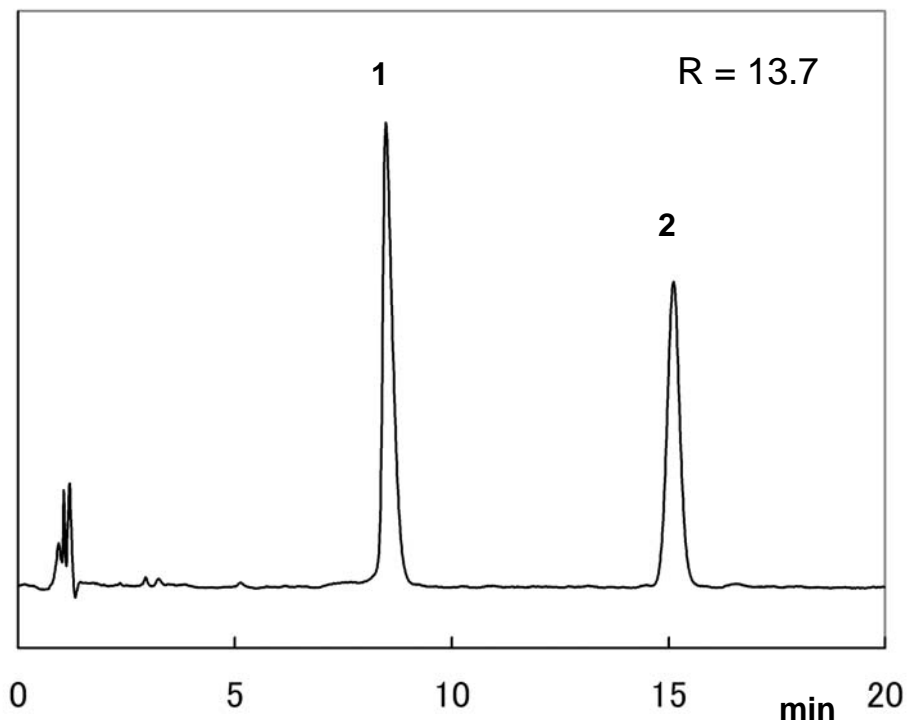
システムの適合性

システム性能：標準溶液10 μ Lにつき、上記の条件で操作するとき、クラリスロマイシン、内標準物質の順に溶出し、その分離度は 3 以上である。



クラリスロマイシン：定量法

—第十六改正 日本薬局方準拠—



Column : TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6 mmI.D. x 15 cm)
Column temp. : 50 $^{\circ}$ C
Eluent : 0.2 mol/L $\text{KH}_2\text{PO}_4(1 \rightarrow 3)$: CH_3CN
= 13 : 7
Flow rate : 1.6 mL/min
Detector : UV (210 nm)
Injection vol. : 10 μ L
Concentration: 0.5 g/L (Clarithromycin)

Peaks
1: Clarithromycin
2: Butyl *p*-hydroxybenzoate